

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

岐阜県選挙管理委員会

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷して作成したものです。

ひとりひとりが日本

J am JAPAN

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする経済産業移民

2 日本人を守り抜く食と健康一次産業エネルギー

3 日本人を育む人づくり国家観

参政党の政策はこちら▼

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷、苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま、明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは戦争にもがき苦しめ、家族観や結婚観といつ日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覺し、考え方行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いでいます。

日本はまだ間に合う。

“集めて配る”より、ます“減税”

減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”

労働力不足の解決を、安い移住民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。

現場の人々が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

食は人の天なり

食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

エネルギーと資源確保が生命線

諸外国も見直しを進める脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

安心医療で健康国家

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

子ども一人につき10万円

0~15歳の子ども一人につき10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

受験戦争からの解放

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

日本はみんなの家

日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は参政党 とお書きください。

曾我ゆうすけ プロフィール 1988年生まれ、岐阜県郡上市在住。岐阜県内のJAに11年勤務。現在は個人事業主として独立し、健康指導事業を行なう。食の変化による心身への影響、美や添加物の多さに疑問を持ち政治家を志す。参政党の理念と哲学に共感し2025年入党。皆が健康で安心して暮らせる日本を目指す。

18歳からの選挙

お子様連れでも投票できます

投票時間
午前7時から午後8時まで
投票日
2月8日(日)

一部の投票所では、この投票時間と異なる場合がありますので、ご注意ください。

岐阜県選挙管理委員会

岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター
鶴飼めいすいくん岐阜県選挙管理委員会ホームページ
岐阜県 選管 検索今井まさと
個人政策

**岐阜県の未来を切り開くために政治家を目指した。
私はブレません。**
これからも、地域の皆さん暮らしを支え続ける。

やるしかない!



いま
今井まさと

岐阜県に新しい産業を作り、新しい雇用を創出する

- 豊かな資源を活用した、水力、地熱、温泉熱、バイオマスなどの発電を推進する。
- データセンターや企業誘致を促進する。
- 新産業の公的研究機関を誘致し、産官学の連携で新しい産業を作る。

食料品の消費税をゼロにする

- ガソリンの暫定税率は廃止できた。次は食料品の値上げラッシュ対策。食料品の消費税をゼロにして、皆さんの暮らしをしっかり支えていく。

中小・小規模企業の社会保険料負担を軽減する

- 中小・小規模企業の新規雇用を促進するため、企業側の社会保険料負担を軽減する。

地方の教育格差を是正する

- 都市と地方で教育機会に差が生まないよう、大学進学に伴う経済的負担を軽減するため、「下宿支援金(仮)」を創設する。

教員を支え、教育の質を高める

- 教員の待遇を改善し、安心して教育に向き合える環境を整える。優秀な人材を確保し、公教育の質を高める。

農業を守り、食の安全保障を強化する

- 農家の所得を補償し、農家が安心して農業に取り組める環境を作る。
- 添加物などの規制を見直し、より安全な食の確保に努める。

医療保険料への上乗せをストップさせる

- 「子ども・子育て支援金」の上乗せ徴収は医療保険の目的外使用であり、これを止め、歳出削減で財源を確保する。

他にも

- 木材の利活用を進化させ、林業の再生を図る。
- 保育・介護に携わる人の給料を引き上げる。
- 地域の要である郵政サービスを堅持する。
- 主要道路の整備を加速させ、都市部からのアクセスを充実させる。
- 都市部から地方への移住者への支援を拡大させる。

現場の声を、国会へ。
質問と答弁あわせて230回超。

岐阜県下呂市出身／米濃加茂市在住／私立東海高校・上智大学卒業／現在の会派：JF銀行で19年勤務
スポーツと読書、剣道教士七段。小中学生に指導する経験も持つ。
現職：現在、岐阜県剣道連盟に所属／フルマラソン10回以上完走



中道改革連合
公認

岐阜県を、強く豊かに。



自民党公認

か
加藤ともひろ
ともひろ
46才

「強く！」——国土強靭化と安全保障の強化

- 中部縦貫自動車道・東海北陸自動車道・濃飛横断自動車道や国道41号線・256号線・156号線など主要な道路網整備を、防災・緊急搬送・物流維持のための「命の道」として最優先で進めます。
- 食料・エネルギーの安全保障強化を推進するため、農林業を「国防」の一部と位置づけ、肥料・飼料の国産化支援や、森林資源を活用したエネルギー自給率向上を図るなど、有事の際も揺るがない食料・エネルギーの自給体制を推進します。

「豊かに！」——日本経済の活性化で地域に活力を

- 食品の消費税2年間0%を実現、ガソリン税の暫定税率廃止や所得税減税を断行し、生活コスト負担を軽減して暮らしの質の向上を実現します。
- 東京一極集中を是正するために、デジタル技術を活用したテレワーク拠点や、企業の地方移転を強力に支援するとともに、地場産業の振興や儲かる農林水産業を目指し、若者が地元で「稼げる」環境を創出します。

「信頼される政治！」——政治改革の徹底

- 政治資金規正法の改正を踏まえ、政治資金の透明性を確保するため、収支のデジタル公開や第三者機関によるチェック体制を構築し、政治への信頼を取り戻します。

■ 加藤ともひろ略歴

昭和54年6月 白川町黒川生まれ
平成14年3月 国立静岡大学理学部 卒業
平成14年4月 国会議員の秘書として政治を学ぶ
平成22年7月 岐阜県議会議員 初当選 5期目
令和4年9月 岐阜県議会 副議長

□ 家族構成

妻と長男・長女の4人家族



第51回衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日

2月8日(日)

投票時間

午前7時から午後8時まで

一部の投票所では、この投票時間と異なる場合があります。
詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会へおたずねください。

期日前投票ができる期間 衆院選：1月28日水～2月7日土

国民審査：2月 1日日～2月7日土

場所や時間など、詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会へおたずねください。
宣誓書の事前記入にご協力ください。(入場券に宣誓書が印刷されている場合など)

小選挙区選挙の投票

候補者名
を記入して投票



用紙の色：薄い水色

小選挙区選挙

比例代表選挙の投票

政党等の名称またはその略称
を記入して投票



用紙の色：薄い桃色

比例代表選挙

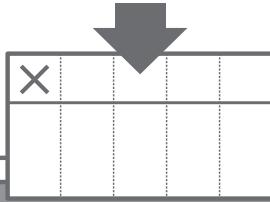
18歳からの選挙



岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター
鵜飼めいすいくん

国民審査の投票

やめさせた方がよいと思う裁判官の
氏名の上の欄に Xを書いて投票



国民審査

お子様連れでも 投票できます



岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター
さるばばめいすいくん

